

高知大学シンポジウム

研究プロジェクト『海洋生態系の解明とその資源の持続的有効利用』成果報告

サンゴの海の保全を考える： 黒潮圏のフィールドから

■とき

2009年3月8日(日)

■ところ

13:00~17:00

高新文化ホール

高知市本町三丁目2-15 高知新聞放送会館7F

参加
無料

あいさつ(高知大学理事 井上新平)

趣旨説明(黒潮圏総合科学専攻 大谷和弘)

第1部 サンゴ礁保全の科学的基礎

招待講演:気候変動のインパクトとサンゴ礁生態系保全(台湾中央研究院生物多様性中心 陳昭倫)

- ・造礁サンゴの種苗生産と高知県竜串の自然再生への適用((財)黒潮生物研究所 岩瀬文人)
- ・サンゴの粘液のはなし(黒潮圏総合科学専攻 大谷和弘)

[休憩]

第2部 与論島のサンゴ礁再生取り組みに学ぶ

- ・与論島のサンゴ礁の現状とその再生可能性(九州大学天草臨海実験所 野島哲)
- ・与論島の水質環境とサンゴへのその影響(高知大学理事 深見公雄)
- ・与論島の環境問題に対する取り組み(与論町役場 元井勝彦)
- ・地域社会による生態リスク管理とサンゴ礁保全(黒潮圏総合科学専攻 新保輝幸)

[休憩]

総合討論

司会:諸岡慶昇(黒潮圏総合科学専攻)

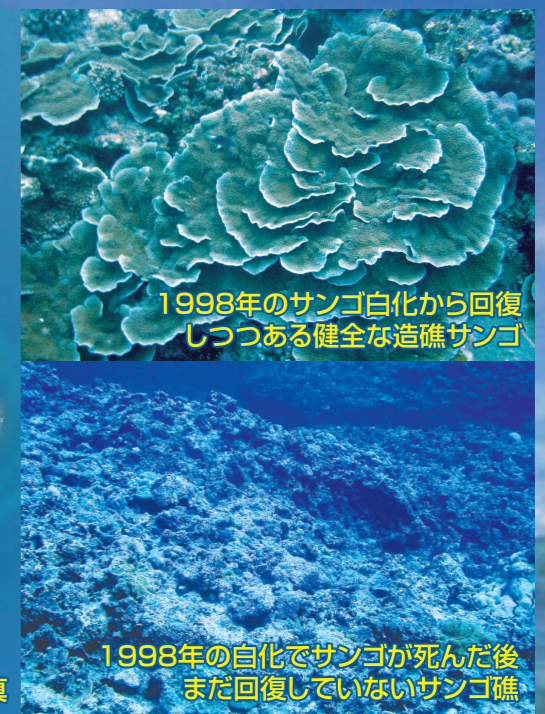
海外特別コメンテーター:K. シャジャンク(台湾中央研究院生物多様性中心)

N. R. ペレア(フィリピン・ピコール大学)

おわりに(黒潮圏総合科学専攻長 奥田一雄)



与論島空中写真



1998年のサンゴ白化から回復
しつつある健全な造礁サンゴ

1998年の白化でサンゴが死んだ後
また回復していないサンゴ礁

●お問い合わせ

黒潮圏総合科学専攻事務室

TEL:088-864-5786 email: sk31@kochi-u.ac.jp

■主催:高知大学大学院総合人間自然科学研究科 黒潮圏総合科学専攻

■後援:環境省中国四国地方環境事務所、高知県、高知県教育委員会、鹿児島県与論町、竜串自然再生協議会、高知新聞社、RKC高知放送、NPO法人黒潮実感センター、(財)黒潮生物研究所